

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和6年第2回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 30

令和6年8月



目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 15

特

集

青森市と
森の400年

in あおもり

写真：青森市森林博物館の展示室「青森とヒバ」にて

特

集

青森市と森の400年

in あ お も り

今回のテーマは「青森市と森の400年」です。本市の大半は山林で占められており、森林面積は5万7425ヘクタールで、市域の約7割が森林です。そして、青森市は全国792市の中で唯一「森」がつく市でもあり、本市の発展に森林は深い関わりがあります。また、2025年は青森港開港400年の節目を迎えることから、今回は、江戸時代からの森林と本市との関わりに触れ、多くの市民に青森の歴史、そして森林に関心を持っていただけるよう、青森市森林博物館の辻村収館長にお話を伺いました。



今回の取材にご協力いただいた辻村収館長。青森県森林組合連合会で、主に総務・経理関係を担当した後、白神山地ビジターセンター館長を経て、令和5年4月から青森市森林博物館の館長を務める。

〔議員〕 本日はよろしくお願ひします。まずは、森林博物館について

ですが、森林の名前を冠した専門博物館はすごく珍しいのでは？

〔辻村館長〕 そうですね。当館は、

明治41年に建設され、青森営林局庁舎として使用された建物です。

昭和57年に営林局が現在の市役所柳川庁舎に移転したことを契機に、全国でも初の森林の博物館として開館しました。

〔議員〕 本市は森林や林業のまちなうイメージはあまりないように

思うのですが、森林に関する日本初の専門博物館があるということは、やはり、本市の歴史と森林や林業との関わりは深いものがあつたということなんですか？

〔辻村館長〕 はい。藩政時代に遡る

んですけれども、保護育成された青森ヒバが津軽半島には多く分布していました。明治になると東洋一と言われた官製製材所と、貯木場や津軽森林鉄道が開設され、青森ヒバの利用が盛んになりました。伐採された青森ヒバは、津軽森林鉄道によって本市まで運ばれ、さらに東北本線で東京などに輸送されました。

〔議員〕 青森県内だけではなくて、

東京の建物にもどんどん使われたということですね。やはり、森林や林業に関わる人たちが多く、市の発展に産業として貢献してきたということもありますか？

〔辻村館長〕 大正後期から昭和のはじめにかけて、青森営林局には全国から赴任してくる職員が約750名いました。家族も含みますと、さらに多くの人が本市に暮らしていたわけです。また、運輸営林署という、森林鉄道の機械など、林業で使う資材の関係を取り扱う部署に約700名の職員がいました。こちらは、地元の人を採用しており、こうした雇用による経済効果はかなり大きかったということです。

〔議員〕 単に役所があつて、そこに人が雇われているのではなく、青森ヒバを売って、そのお金で、地元雇用が生まれているということとで、市の発展に果たした役割も大きかったんですね。

〔辻村館長〕 ただ、現在の青森ヒバの伐採量は、ピーク時と比べて1%以下になっています。

〔議員〕 そうすると昔と同じように

青森ヒバを伐採利用するだけでは、森林に関する産業が盛んになることは難しいでしょうね。一方で、現在も本市は豊かな森林に囲まれています。未来に向かって、森林が市民生活に果たす役割は、どんなものがあるでしょうか？

〔辻村館長〕 まず、木材生産を行う林業のほかに、登山や森林散策などの観光資源や健康増進などのレクリエーションとして、森林空間を活用するといった考え方が出てきたと思います。梵珠山や八甲田山など、さまざまな森林環境が楽しめる青森市はやっぱり面白いですよ。

〔議員〕 1つの自治体で、ここまで多様な自然環境がそろっているのは珍しいですよ。

〔辻村館長〕 そうですね。八甲田山なんか、市の中心部から車で40分走ると、もう着くんですよ。こう

いうところはなかなかないのかなと思います。

〔議員〕 やはり、青森では伝統的な生活の中で、森林との関わりが深かったのでしょうか。

〔辻村館長〕 私が子どもの頃は、山で山菜を取ったり、魚を取ったりして遊びましたし、山の下草刈りの手伝いもしました。森林はそうした自然との触れ合いや学習の場にもなりますね。

〔議員〕 市民が広く森林に親しめることが、青森市の魅力の一つにできるのではないかと思います。ありがとうございます。



取材を終えて。ご協力誠にありがとうございました。

（取材日：令和6年5月21日）

左から、辻村館長、里村議員、木村議員

青森市議会で

議決した主な議案です。

令和6年第2回定例会

会期27日間 5月31日～6月26日

第2回定例会で可決等した

議案・請願

市長提出議案18件中……………18件

(承認1件、可決15件、

同意2件)

議員提出議案8件中……………7件

(可決)

請願1件中……………1件

(採択)

■ 以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和6年度6月補正予算案を可決しました

今期定例会では、子ども医療費に関する自己負担額の全額公費負担の対象を、高校生等まで拡大するとともに、保護者の所得制限を撤廃するために要する経費、2歳児クラスの認定こども園等に係る保育料等を全額公費負担するために要する経費、令和6年度から定期接種となった新型コロナウイルス感染症の予防接種を、本市独自の軽減策により、1回当たり3千円で実施するために要する経費等を計上した一般会計補正予算案が提案されました。

市議会では、同案について、全会一致で可決し、補正後の令和6年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

● 令和6年度青森市一般会計補正予算額 11億2千633万7千円

補正後の予算額 1千297億5千33万7千円

その2

青森市福祉館条例の一部を改正する条例案を可決しました

● 青森市福祉館条例の一部を改正する条例

今期定例会では、老朽化対策として改築中の滝内福祉館の建て替え工事が令和6年7月末に完了する予定であることに伴い、使用料の額を定めることが必要なことから、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改築後の当該福祉館については、集会室・多目的室を4室設置するもので、そのうち3室は貸出施設として設置し、1室は自由に使用できる図書室や休憩室として設置します。

改正内容については、貸出施設である3室について、それぞれの部屋の面積区分に応じた使用料を設定するものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その3

青森市子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例

今期定例会では、子ども医療費助成条例の所要の改正に伴い、改正が必要な条例の所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、子ども医療費助成事業の対象年齢を「高校生等」までに拡大するとともに、所得制限を撤廃し、医療費の助成方法を現物給付とするもので、これに伴い、青森市ひとり親家庭等医療費助成条例等において、現在、償還払いとしている「高校生等」に対する助成方法を現物給付とする等、所要の改正を行うものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その4

青森市総合計画基本構想案を可決しました

総合計画基本構想は、まちづくりの方向性を示す最上位指針であり、市では、青森市総合計画審議会からの答申を基に基本構想の素案を作成し、地域説明会・学生説明会での意見を参考にして、10年後の将来都市像を「みんなで未来を育てるまちに」とし、この実現に向け、「仕事をつくる」「人をまもり・そだてる」「まちをデザインする」を施策の大綱とした基本構想を取りまとめました。

当該基本構想は、青森市まちづくり基本条例第21条の規定により、議会の議決を経る必要があることから、今期定例会において提案されました。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その5

契約の締結に係る議案を可決しました

今期定例会では、議会の議決が必要な予定価格1億5千万円以上の工事に係る契約として、5件提案されました。

その概要を紹介します。

□青森市立造道小学校校舎改築工事

契約金額 27億3千350万円

□青森市立造道小学校校舎改築電気設備工事

契約金額 4億469万円

□青森市立造道小学校校舎改築空調設備工事

契約金額 2億9千826万5千円

□青森市立造道小学校校舎改築給排水衛生設備工事

契約金額 2億130万円

□青森市清掃工場火災対策整備工事

契約金額 10億8千130万円

市議会では、各議案について、全会一致で可決しました。

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第2回定例会において行われた
一般質問、予算特別委員会の議案
質疑の中から、一議員につき一項
目の質問・質疑及び答弁の要旨を
掲載しています。

● 質問・質疑を行った議員・委員数

● 第2回定例会

一般質問……………24名
予算特別委員会……………16名
(里村委員長、竹山副委員長)

※本会議での一般質問等の
様子については、生中継
及び録画映像の配信をし
ていますので、下の2次
元コードからアクセスの
上、御覧ください。



防 災



災害時の仮設トイレ

について

自民クラブ 小豆畑 緑
あずはた みどり

Q 仮設トイレを設置する際、高齢者、
障害者が利用しやすいよう、手す
りの設置やオストメイトへの対応
等、配慮が必要だと思いますが、
市の考えをお示しください。

A 総務部長 市では、レンタル機材
等を取り扱う民間事業者と災害時
応援協定により、必要に応じ、手
すり付きの仮設トイレの提供を受
けることが可能であるため、要配
慮者のニーズも踏まえた支援を依
頼することとしています。引き続
き、協定締結事業者と定期的に情
報交換等を行い、避難所等の良好
な環境の確保に努めてまいります。

総 務



総合評価

落札方式について

公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

Q 中小企業者の受注機会拡大のため、
現在の総合評価落札方式の対象金
額の1千500万円以上を引き上げる
考えはないかお示しください。

A 総務部長 同方式を導入したこと
により、工事成績評定の向上など
の効果が見られますが、受注実績
のない事業者は受注しにくい傾向
があるなどの課題も見受けられま
す。受注機会の拡大に向けた取組
も重要なものと考えており、これ
までの入札結果や工事の施工状況
を踏まえ、国や県の動向等も注視
しながら、本市における同方式の
在り方を検討してまいります。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

情報政策

※「スマートシティ」

都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用し、人々によりよいサービスや生活の質を提供する都市または地域のこと。



スマートシティの

取組について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q ICT等の新技術を活用し、様々な社会問題にアプローチできるスマートシティについて、本市の取組をお示しください。

A 市長 今年度は、スマートシティに関する庁内検討委員会の設置や有識者からの意見聴取等を行い、スマートシティを推進する上での指針を策定することとしております。都市機能の効率化・高度化等を進めるためには、デジタル技術の活用が不可欠と考えており、スマートシティの取組により「DX先進都市 青森市」の実現を目指してまいります。



人口減少対策について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q 青森市総合計画の策定に当たり開催したあおり未来ミーティングの報告書を見ると、働ける場所、子育て、多様な生き方、交通の便など、たくさんの意見があります。市では、これらの意見を深掘りし、若者や女性の声に耳を傾ける機会、場が必要だと思いますが、考えをお示しください。

A 企画部長 市では、学生を含め、様々御意見いただきましたが、若い人や女性の声をまちづくりに生かしていくことは重要だと考えることから、その方向で検討してまいりたいと思っています。

市民生活



相続登記の義務化

について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

Q 本年4月1日から相続登記が義務化されましたが、この概要と市の周知方法についてお示しください。

A 税務部長 民法及び不動産登記法の改正により、相続等により不動産を取得した相続人は、自己のために相続の開始があったことを知り、かつ、当該不動産を取得したことを知った日から3年以内に相続登記を申請しなければならないこと等が義務づけられました。市では、固定資産税納税通知書発送時のチラシの同封などを行っており、今後も青森地方法務局と連携し、周知啓発を図ってまいります。

市民生活



マイナンバーカード について

日本共産党
村川 みどり

Q 市民から、市内の薬局で、令和6年12月から健康保険証は使えないので、マイナンバーカードを準備するように言われたとの声が寄せられました。事実と異なる説明や当該カードを強制することは問題だと思いますが、市の見解をお示しください。

A 税務部長 当該カードの取得等を強制することは適切ではありません。令和6年12月1日時点で有効な健康保険証は、翌日以降、最長1年間は利用可能となる経過措置が設けられているなど、今後、医療機関等へ周知してまいります。

市民生活



ふるさと納税について

自民クラブ
大矢 保

Q 市のふるさと納税の返礼品に空き家管理を代行するサービスを加えるべきと思いますが、市の考えをお示しください。

A 市民部長 当該サービスは、建物の外観及び内部の確認、室内の換気・通気のほか、玄関前の簡単な草取り、雪かき等を行うサービスであり、当該サービスをふるさと納税返礼品として取扱いをしている自治体があることを確認しています。本市においても、今年度、当該サービスを返礼品とする新規登録申請があり、現在、その内容を審査しているところです。

観光



ねぶた小屋の 常設化について

創青会
館山 善也

Q ねぶた小屋の常設化に当たり、有益な国の補助金の活用、風や塩害等の立地先の諸条件、配置や設備・面積、躯体への県産材の活用、ウォーターフロントの環境との一体性、ねぶた期間以外の活用方法、ねぶた小屋にふさわしい名称、以上7項目の検討を要望しますが、市の考えをお示しください。

A 経済部長 頂いた御提案は、今年度実施するラッセランド整備調査業務の中で整理され、県産材の積極活用についても、青森市木材利用促進基本方針を踏まえ、検討されていくものと認識しています。

スポーツ



国民スポーツ大会

について

自民クラブ 中田 靖人
なかつた やすひと

Q 2026年に開催予定の青の煌めきあおもり国スポについて、今年度の主な取組をお示しください。

A 経済部長 今年度は、本市開催の14競技の各会場のレイアウト、運営スタッフ等の配置人数などを整理した実施設計を取りまとめた上で、選手等の輸送費や人件費などの経費積算のほか、来年行われるリハーサル大会に向け、大会運営をサポートするボランティアの募集等を行うイベントなどを通じ、大会に向けた機運醸成を図ることとしております。

農林水産



ホタテガイについて

自民クラブ 柿崎 孝治
かきさき こうじ

Q ホタテガイの生産が厳しい環境にある中、漁業者を勇気づけるため、市民の皆さんに公開で市長と漁業者との座談会を開催してはどうかと考えますが、市の考えをお示しください。

A 市長 ホタテガイ養殖漁業者においては、今年のホタテガイ生産はもとより、来年以降の生産継続においても大きな不安を抱えていると思われることから、できる限り早い機会に漁業者から直接現状を伺い、今後のホタテガイ生産について意見交換ができる場を設けることを考えてまいります。



教育



教育環境について

日本共産党 天内 慎也
あまの しのや

Q 浪岡北小学校屋根改修工事設計業務の進捗状況をお示しください。

A 教育部長 浪岡北小学校については、屋根にさびが生じていることを確認しており、その状況を注視してきましたが、さびが広範囲に及んできたことから、令和6年度に、校舎及び屋内運動場の屋根の全面改修工事に向けた設計業務を実施することとしています。当該設計業務は、本年6月12日に事業者と契約額270万1千98円で委託契約を締結したところであり、令和7年2月28日までの委託期間としております。

教 育



小学校教員の

人材確保について

創青会 木村 淳司
きむら じゅんじ

Q

令和6年度の小学校教員採用試験の応募倍率は1.2倍となっており、応募者が少なく採用人数を増やせない、この危機的な状況について、市の見解をお示しください。

A

教育長

令和7年度の青森県小学校教員採用試験の応募倍率について

では1.4倍とやや持ち直したものの、応募者は減少傾向にあるものと認識しています。学校教育においては、専門性の高い教師の育成や、安定的確保等は喫緊の課題であり、教員採用試験の応募倍率の低下等は、本市の教育にとって危惧すべき状況と考えています。

教 育



通学区域再編について

市民クラブ 奈良 祥孝
なら しょうこう

Q

子どもたちへの良質な教育の確保等のため、通学区域再編は避けて通れない課題ではありますが、これまでの取組状況と今後の進め方について、教育委員会の考えをお示しください。

A

教育長

平成20年4月から昨年までの間で、小学校12校、中学校2校において学校統廃合による通学区域再編を行ってきました。今後

も少子化に対応した適切な教育環境の確保を図るため、保護者や地域の皆様との話し合いを通じ、情報提供と意向把握に努めながら継続的に取り組んでまいります。

教 育



ボランティア教育

について

創青会 木戸 喜美男
きど きみお

Q

市内小・中学校での当該教育の概要についてお示しください。

A

教育長

市では、持続可能な社会の創り手の育成、日本社会に根差したウエルビーイングの向上を同時に達成するための教育活動として、令和5年度から、「青森市学

校教育指導の方針と重点」にボランティア教育を掲げ、全ての小・中学校で実施しています。昨年度、児童・生徒が実施した清掃ボランティア、挨拶ボランティア、施設訪問ボランティア、イベントへの参加ボランティア等の活動は、2万1千96回となっています。

教 育



部活動の

地域移行について

自民クラブ 澁谷 洋子
しづたに ようこ

Q 休日の部活動の地域移行に向けた今後の取組内容をお示しください。

A 教育長 急激な少子化や教員の働き方改革が進む中、休日の部活動をこれまで同様の体制で運営することは困難な状況が生じてきていると考えています。このため、国では、地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てるという考えの下、文化・スポーツ活動の最適化を図る必要があるとしていることから、本市では、各校及び地域の実情を踏まえ、生徒、保護者の御理解・御協力を得て、段階的に進めていきたいと考えています。

都市整備



空き家対策について

日本共産党 赤平 勇人
あかひら ゆうと

Q 青森市空家等対策計画第2期素案について、第1期との変更点や強化点等の概要と今後の策定に向けたスケジュールをお示しください。

A 都市整備部長 本計画の主な新規施策として、相続登記の重要性について啓発する取組、空き家等が公共の安全を妨げ、緊急の必要があると認められる場合、市が最低限度の緊急安全措置を講じることなどを実施することとしています。今後のスケジュールとして、わたしの意見提案制度を実施し、その結果を踏まえ、令和6年9月末に策定する予定としています。

都市整備



洋上風力発電の

基地港湾整備について

創青会 小倉 尚裕
おぐら たかひろ

Q 青森港油川地区の基地港湾整備について、現在の状況と今後のスケジュールをお示しください。

A 市長 青森港は、本年4月26日に県内で初、全国で6例目となる基地港湾として、国土交通大臣から指定されました。今年度からは青森港油川地区国際物流ターミナル整備事業として、令和9年度まで水深12メートルの岸壁整備等が行われることになっており、県によると、今後、青森県沖日本海南側で展開される洋上風力発電事業で、基地機能を油川埠頭が担うことを想定しているとのことです。

基地港湾利用の様子(秋田港)



橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

環境



地球温暖化対策について

立憲民主・社民 小熊 ひとみ

Q 本年3月25日に行った本市の2050年ゼロカーボンシティ宣言の内容と宣言した理由をお示しください。

A 市長 ゼロカーボンシティ宣言とは、2050年脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡の達成に取り組むことを表明するものです。本市においても、気候変動の影響から市民の暮らしを守り、豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことが大変重要な責務であると考え、宣言をしたところです。

環境



ボランティア

清掃について

立憲民主・社民 蛭名 和子

Q 市民からボランティア用ごみ袋を配付してほしいとの要望がありますが、市として配付する考えはなにかお示しください。

A 環境部長 本市では、ボランティア清掃を行う団体等に対し、デレキ等を貸し出すほか、清掃活動で回収したごみの処理手数料を減免しています。現在は、ごみ袋を配付していませんが、清掃意識の高揚と明るくきれいな住みよいまちづくりにつながることから、他市の事例を踏まえ、青森市ごみ問題対策市民会議と連携しながら研究していきたいと考えています。

子育て



子どもにやさしい

まちづくりについて

公明党 工藤 夕介

Q 子どもにもやさしいまちづくりへの機運醸成のため、子どもが自分の権利を理解し、守るための行動を促す社会環境の整備は重要と考えますが、子どもの権利条例に係る主な取組をお示しください。

A 市長 毎年11月20日の青森市子どもの権利の日に合わせて、市内小・中学校での権利に関する授業等の実施や、市政等に対し子どもが意見表明等を行う青森市子ども会議フォーラムの開催、権利侵害を受けた子どもの救済を図る青森市子どもの権利相談センターで、相談者に助言・支援等を行っています。

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



高齢者支援について

日本共産党
万徳 まんとく
なお子 なおこ

Q

高齢者の4人に1人以上が年齢を理由とした賃貸住宅への入居拒否を経験しているという調査結果があり、高齢化とともに住まいの相談は増えると予想されます。高齢者支援課における、高齢者の住まいの相談への対応についてお示しください。

A

福祉部長 高齢者支援課では、住に課題を抱える高齢者から住まいの相談を受けた際には、相談内容に応じ、円滑な入居の促進に関する情報提供や居住支援法人の紹介のほか、市営住宅を管理する住宅まちづくり課へつないでいます。

福祉



終活支援の取組について

無所属
相馬 そうま
純子 じゅんこ

Q

本年6月から新しい高齢者支援策を講じることですが、その具体についてお示しください。

A

福祉部長 本市では、65歳以上の方を対象に、緊急連絡先や生前契約等の終活関連情報のうち、あらかじめ本人が希望する情報を市に登録し、病気や事故等で意思表示ができなくなったときや亡くなったときに、医療機関や警察、本人が指定した家族等からの照会に対し、本市が本人に代わり登録情報を伝える終活情報登録事業を実施しており、6月から情報登録の受付を開始しています。

健康づくり



健康寿命延伸に向けた取組について

市民クラブ
木下 きのした
靖 やすし

Q

2023年の人口動態統計によると、青森県のがん死亡率は11年連続で全国ワースト2位、糖尿病では2年連続ワーストとのことですが、健康寿命の延伸に向けた今後の方向性についてお示しください。

A

市長 健康寿命の延伸は大変重要な課題の一つと認識しており、今後は青森市健康寿命延伸会議と連携し、協同組合青森総合卸センターでも導入したQOL健診を本市でも拡充して、新たに若年層向けの中学生やその保護者のほか、働き盛り世代を対象を広げて実施することとしています。

※QOLとは、クオリティ・オブ・ライフ（生活の質）のこと。QOL健診は、弘前大学が開発した、即日2時間で測定・結果通知・健康教育までを完成させるコンパクト型のプログラムパッケージのこと。

保健医療



救急安心センター事業

(#7119) について

創青会 里村 誠悦

Q 急な病気やけがの際、救急車を呼んだほうがよいかなど、専門家から電話でアドバイスを受けられる救急安心センター事業（#7119）についてお知らせください。

A 保健部長

本事業は、各都道府県が実施し、本県においては、県が救急安心センター（#7119）運営業務の委託事業者を選定するため企画提案競技を実施し、8月1日からの事業開始に向けて準備を進めているとのこと。市としても、県と連携を図りながら、「広報あおもり」等を通じて、広く市民の皆様にも周知してまいります。

保健医療



子どもの特別な理由による予防接種の再接種費用助成について

自民クラブ 関 貴光

Q 子どもの定期予防接種は基本的に公費負担ですが、小児がん等の治療後、再接種する場合は任意接種扱いで、高額な費用が自己負担となります。そのため、再接種を受けられないという事態が発生していますが、再接種の必要性について、市の考えをお示しください。

A 保健部長

全国市長会において、当該再接種の助成制度の確立を国へ提言しており、市では、現時点で再接種の費用助成を実施していませんが、本市における対象者等の調査とともに、先進事例についても研究してまいります。

保健医療



5歳児健康診査について

公明党 軽米 智雅子

Q 現在、3歳児健診以降は、就学前まで健診はありません。発達に問題のある子どもの早期発見、早期支援につなげるためにも、5歳児健診の実施が必要と思いますが、市の考えをお示しください。

A 保健部長

5歳児健診の実施に当たっては、発達の評価を行う医師や臨床心理師などの専門職の確保や、健診の結果により、精神発達等の診察を行う医療機関の確保など、必要な支援を提供するためのフォローアップ体制の充実が重要なことから、現状では、すぐの実施は困難であると考えています。

病 院

A 市民病院事務局長 統合新病院での院内保育所については、病院運営の面からも、育児支援策が充実している施設としてのイメージアップや、看護師をはじめとした医療従事者の人材確保にもつながることから、現在、両病院において設置に向け検討を進めているところであり、具体につきましては、今後、基本構想・計画の策定過程において示してまいります。



統合新病院の 院内保育について

立憲民主・社民
藤田 誠
ふじた まこと

Q 病院勤務者の環境を整備するためには統合新病院に院内保育を設置する必要があると考えるが、市の考えをお示しく下さい。

病 院

A 消防長 消防本部では、閑静な住宅地や夜間の走行等に応じてサイレンの音量を抑える、弱モードまたは住宅モードと呼ばれる切替えスイッチを導入しています。この装置の使用により、安全性を確保しつつ、傷病者やその家族に限らず、周辺の地域住民にも配慮した救急出動が可能と考えています。



統合新病院について

無所属
中村 美津緒
なかむら みつお

Q 統合新病院の整備場所がセントラルパークに決まった場合、住宅街に、年間約6千件の救急搬送車が往来することですが、住宅街を通る際、サイレンの音を下げることが可能なかお示しく下さい。

会派の異動と議会の人事の報告

3月25日付で、日本共産党会派の相馬純子議員から会派脱会届が提出され、各会派の構成人数は、次のとおりとなりました。

自民クラブ8人、創青会5人、
日本共産党5人、市民クラブ4人、
公明党4人、立憲民主・社民3人、無所属3人

これにより、以下のとおり議会の人事に変更がありました。

◆議会運営委員会委員の辞任（3月25日付）
赤平 勇人

全国市議会議長会の 表彰が行われました

今期定例会の開会日（5月31日）に、長年にわたり市政の発展に尽くされた次の方に表彰状の伝達が行われました。

特別表彰

【議員在職
30年以上】
大矢 保



議場での表彰状の授与の様子

令和6年第1回「議員とカダる会」を開催しました

「議員とカダる会」（議会報告・意見交換会）につきましては、令和6年5月に、市内4会場で下記のとおり開催いたしました。主な内容については、令和6年第1回定例会に関する議会報告のほか、会場ごとに設定したテーマについて意見交換会を行いました。頂いた多くの貴重なご意見につきましては、市議会として今後の活動に大いに生かしてまいります。ご参加いただいた市民の皆様、誠にありがとうございました。

なお、各会場の報告書を市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、頂いたご意見等のうち、一部については「議会の意見」として執行機関に回答を求めていますので、後日、その回答は市議会ホームページ等を通じてお知らせします。

◎開催状況

日にち	場所	対象	テーマ
5/9	横内市民センター	一般	防災について
5/9	東部市民センター	一般	ごみの問題について
5/13	浜田福祉館	一般	操車場跡地の利活用について
5/15	青森中央学院大学	学生	こんな青森で暮らしたい ～いいとこ悪いとこ青森市～



浜田福祉館での様子

常任委員会の視察結果を報告します

市議会では市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を行っています。このうち、各常任委員会が行った視察について報告します。なお、市議会ホームページでも視察先等の概要を掲載しており、右の2次元コードを読み込むことでアクセスできますので、ぜひご覧ください。



総務企画常任委員会 5/13～15

- ★奈良県奈良市
ドローンを活用した消防団情報収集部隊について
- ★兵庫県伊丹市
デジタル政策について

文教経済常任委員会 5/8～10

- ★岡山県倉敷市
倉敷市と棟方志功について
- ★広島県広島市
地域コミュニティ活性化ビジョンについて

都市建設常任委員会 5/7～9

- ★神奈川県川崎市
中心市街地などの再開発促進について
- ★神奈川県横浜市
デマンド型交通について

民生環境常任委員会 4/24～26

- ★兵庫県明石市
おむつの定期便に関する事業について
高齢者への補聴器購入費用の助成に関する事業について
- ★兵庫県尼崎市
脱炭素社会の実現に向けた取組について

編集後記

議会だより編集会議
委員 木村 淳司

今回、取材にご協力いただいた辻村館長は、里村議員と同年代で、子ども時代の山での遊びにまで話が及びました。紙面の制約で残念ながらご紹介できませんが、サバイバル能力が高い遊びの技の数々に驚かされました。今後も、市民の皆様に関心を持ってもらえるような市議会だよりとなるよう頑張ってみようと思います。

令和6年第2回定例会の傍聴者は95人、インターネット生中継へのアクセス件数は1452件でした。
令和6年第3回定例会は8月28日開会の予定です。

